

(参考資料)

国立カザフスタン大学と日本原子力研究開発機構との間の
高温ガス炉技術に関する将来の人材育成のための覚書(和訳)

国立カザフスタン大学(以下、「KNU」という)と日本原子力研究開発機構(以下、「JAEA」という)(以下、「両当事者」という)は、高温ガス炉技術に関する人材育成が、将来において成功かつ有益なものとなることを期待し、ここに、以下の認識に達した。

1. KNUで開講される高温ガス炉技術に関する講義を支援するため、JAEAの専門家をKNUに派遣する。
2. 両当事者は、KNUの職員及び学生のJAEAへの受入れのような高温ガス炉技術における人材育成、その他の両当事者の共通の関心及び将来の支援のため個別に同意される項目についての協力を実施する可能性を探求する。
3. 両当事者は、平和的利用目的にのみ、本覚書に基づく協力を実施する。

以上を証するため、両当事者は、ここに記された日付において正当な委任を受けた代表者により、ここに覚書を作成した。

2008年 10月 9日、東京にて二通が作成された。